【同居介護生活は突然に11】3/23

仕事が忙しくまた一ヶ月以上間が空きました。

​

3週間ごとの定期診断に体調後退も無く、週6日デイサービスにも休みなく通い穏やかな日々を過ごしていた母でしたが、週末に初めての「出勤」拒否〜！

​

確かに、このところ夜帰ると「疲れた〜」と、同じ部屋の通いの男性が大声で喋り続けることに閉口しているとこぼしていたのと、週一日休みの翌朝には「今日は休みたい」と起きたがらない傾向が時折あったのですが、朝ご飯と服薬する呼びかけには抗わずに応じ、着替えて朝食をとる頃には「8時にお迎えが来るのね」と自分に言い聞かせて出かけて行っていたのです。

​

けれども、この日は駄目でした。

​前日の施設で書いたらしきメモもポケットから発見〜☆

服薬までは済ませながら「今日は休みたい」と頑なに動かず。

​

私も切り替えて、迎えの担当者に状況を伝えて後で可能なタイミングで改めて迎えに来て欲しいとお願いしました。

私も抱えた仕事を考えると、昼食前に原状回復をしたいところではありましたが、ここは思慮深く母親に「出勤」を迫ることはせずに、食器洗いに洗濯、掃除機がけなどに忙しく相手できないアピール。

​何もすることの無い母親を退屈へ誘いました。

タイミングを見て小規模多機能に連絡。迎えを頼み、やって来た時には隠れて陰から様子を伺ったのです。

​案の定。誘われるままに「出勤」していく母。陰からの見送りは成功でした。

​

結局、夕食を済ませて帰宅したときには朝の騒動も忘れており、穏やかに就寝。

​連絡帳によれば、あのまま桜を見にドライブに連れ出してくれたらしく、無事に入浴も出来たとのことでホッとしました。

​やはり、小多機スタッフとの信頼関係で臨機応変な対応が可能であったことが何よりです。

　　